

# 鐵道敷設法案特別委員會議事速記錄第一號

## 委員氏名

委員長	伯爵林博太郎君
副委員長	子爵大河内正敏君
	子爵酒井忠亮君
	子爵野村益三君
	子爵藤田廣城君
	男爵山根武亮君
	和田彦次郎君
	男爵古市公威君
	男爵阪谷嘉吉君
	中村芳郎君
	男爵斯波忠三郎君
	男爵黑田長和君
	男爵藤堂長和君
	山之内高成君
	一次君

大正十一年二月十八日(土曜日)午前十一時十八分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ鐵道敷設法案ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、最初ニ先ツ...

○男爵黑田長和君 私チヨット委員長ニ希望ヲ述ベキ置キタクゴザイマス、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 宜シウゴザイマス

○男爵黑田長和君 近頃ノ本會議場及是カラ豫算委員會ニナリマスルト、此會期ヲ通ジテ最も重要ナル言論ガ行ハレルノデアリマス、委員トシテハ最も注意深ク之ヲ伺ヒテ置ク必要ノアル時機デアリマス、ソレ故ニ此特別委員會ヲ開カレマス時機ニ於キマシテハ、委員長ニ於カセラレテハ細心ノ御注意ヲ拂ハレ、重要ナル本議場及豫算委員會ニ於ケル會議ト突合ハナイヤウニ、ドウカ御注意ヲ願ヒタクゴザイマス、其希望ヲ述ベテ置キマス

○子爵野村益三君 私モ當局者ニ一應ノ希望ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、言フマデモナク此法案ノ、特別委員會ニ付テハ謂ハバ衆目ヲ惹イテ居ルノデアリマス、成ベク御互ニ諒解ヲシテサウシテ各ノ職責ヲ盡シタイト云フコトハ誰モ彼モ考ヘテ居ル所デアラウト思ヒマス、デ先達テ來ノ本會議ニ於ケル狀況ヲ見マスルト、場所柄デアアルセイデアリマセウガ、ドウモ當局ノ御説明モ要綱ニ觸レナイコトが多々アル

ヤウニ存ジマス、現ニ當局大臣カラモ此事ハ特別委員會デト云フヤウナ御言葉ガ屢、アツタノデアリマス、無論言フ迄モナイ話デアリマスガ、ドウカ一ツ本席ニ於テハ十分ニ胸襟ヲ披イテ吾々共ノ諒解ノ出來ルヤウニ打明ケテ御話ヲ願ヒタイ、是ガ當局者ニ對スル私ノ希望デアリマス、ソレカラ尙ホ委員長ニ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、ドウ云フ風ニ此特別委員會ノ進行ヲ御執リナリマスカ、私ノ感ジテ居リマスル所ハ、成ホ下本會議ニ於ケル當局ノ御辯明ニ對シテハ尙ホ重ネテ伺ハナケレバナラヌコトガ多々アルト存ジマスケレドモ、併ナガラ大體ノ質問箇條ニ付テハ、モウドナタモ或ハ大凡御考ガアルノデハナイカト思ハレルノデ、別ニ新ラシイコトヲ實ハ重ネテ御尋スルコトモナカラウカト思ヒマスノデアリマスガ、若シサウデアレバ此處デ便宜上御打合デモシテ、斯ウ云フ箇條ニ付テ一ツ立入シテ御尋フシテ見タイ、或ハ新ラシイ斯ウ云フ箇條ニ付テハ進シテ辯明ヲ求メタイト云フヤウナ御協議ガ或ハ出來ルノデハナイカトモ考ヘルノデアリマスガ、尤モ委員長ノ御考、並ニ委員諸君ノ御考ニシテマアサウ云フコトハ措カウ、サウ云フコトヲ定メズニヤッタ方ガ却テ議事ノ進行上ニ宜カラウ、斯ウ云フ御話ガアリマスレバ何モ私ハ主張モナニモスルノデアリマセヌガ、若シ私ノ言フヤウナコトガ行ハレルバ、御互ニ諒解スル點ニ於テ非常ニ便利デアアルマイカト斯ウ考ヘルノデアリマス、先ヅ以テ委員長ノ御考、並ニ同僚諸君ノ御考ト云フモノヲ伺ヒ見タイト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 唯今黑田男爵ヨリ御話ガゴザイマシタガ、成ホド御話ノ如ク私ト副委員長モ其他此中ニハ大分豫算委員ニナッテ御出デノ御方ガ多イヤウデゴザイマスノデアリマスカラ、成ルベク此重要案ヲヤリマスノニハ兩者ノ間ニ餘リ衝突シナイヤウニ云フ御注意ハ御尤モト考ヘルノデアリマス、出來ルダケサウ云フ手段ヲ講ジマスケレドモ、ドウモ矢張同時ニ是ガ唯今、モウ直キニ始マラウトシテ居ルノデアリマスカラ、絕對的ニ是ト衝突ヲ防グト云フヤウナコトハ到底出來ナイコト考ヘマスガ、成ベクハ計リマスガ、ドウカコナラノ方ヘモ御勉強ヲナサイマシテ御出席ニナルヤウニ希望致シマス、野村君ノ御動議モ...御動議デアリマセヌ御話モ、御尤ト思ヒマスノデ、皆サンニ於テ是ハ一ツ御相談ヲ願ヒマシタ上デ、一ツ更ニ御申出ヲ願ヒテ御協議シタイト考ヘマス、取敢ヘズ只今ヨリ簡單ニ鐵道大臣カラ此案ニ付テ御説明ヲ煩ハシタイト考ヘマス

○男爵山根武亮君 只今阪谷男爵カラ御傳言デゴザイ

マス、今丁度議會デ質問ノ順番ニ當テ居ルノデ遅刻スルト云フコトデゴザイマス、ドウカ...同時ニ私ハ一寸遅レマシタノデ黑田男ノ御説ハ能ク承知シマセヌデシタガ、一般ヲ承ハリマシタガ、ドウカ其ヤウニ御願シタイトデアリマス

○國務大臣(元田肇君) 本案提出ノ理由ニ付マシテハ本會ニ於テモ一應申述ベテ置キマシタ、尙ホ數日ニ互ッテ御質問ガアリ、其際ニモ自カラ提案ノ理由ハ申上ゲマシタ積リデアリマス、昨年提案イタシマシタ提案ノ要旨モ同ジコトデアリマス、一言ニシテ之ヲ申上ゲマスレバ、我國ノ鐵道ハ未ダ十分デアリマセズ、線路網モ十分ニナラズ居リマセヌ、而シテ現行ノ鐵道敷設法ハ既ニ大體ニ於テ其線路モ終リテ告ゲツツアルノデ、此際第二回ノ計畫ヲ立テマシテ御協賛ヲ仰グコトノ至當ト認メマシテ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、現行鐵道法ノ改正案ト致シマシテ提出イタシテモ宜シイノデゴザイマスガ、各條ヲ削除シタリ殖ヤシタリ致シマスト非常ニ煩雜ニ互リマスカラ、鐵道敷設法案トシテ本案ヲ提出致シマシテ、附則ニ於テ不用ナル所ノ法律ハ廢止スルト云フコトニ致シタ方ガ洵ニ簡潔ニ明白ニ致スコトト存ジマシテ、本案ノ如キ形式ニ於テ提出イタシタ次第デアリマス、尙ホ私ハ繰返サヤウニナリマスカラ提案ノ理由トシテハココニ止メテ置キマスガ、御質問ガアリマスレバ御答イタシマスガ、委員會ニ於キマシテ精シク申上ゲタイト申シマシタノハ、委員會ニナリマスレバ政府委員モソレト出席シテ居ルコトデアリマスルカラ、精シク御説明ヲ申上ゲルコトモ出來マセウ、大體ノ方針等ニ付マシテハ無論私ヨリ御答イタスコトデアリマスガ、ソレ等ノ細目ニ互ッテ御説明ハ政府委員ガ要ヲ得マシテ、私ヨリ一層説明モ明晰ニナルコトデアラウト思ヒマスカラ、ソレ等ノ點ハ政府委員ヲ以テ十分ニ御答ヲ致ス考デゴザイマス

○政府委員(石丸重美君) 只今本案ノ大體ノ説明ニ付マシテハ當局大臣ヨリ御話ガゴザイマシタ、尙ホ此網ヲ作リマシテ其手續ニ付マシテ皆サマノ御參考ニ御耳ニ入レマシテ、此網ノ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ御諒解ヲ得タイ次第デアリマス、是ハ只今野村子爵ヨリモ御註文ガゴザイマシタガ、私カラハ出來ル丈ケ此案ノ御諒解ヲ得マシテサウシテ御決定ヲ願ヒタイト思ヒマス、今マテ差上ゲテゴザイマスル小サナ紙ニ入レテゴザイマス線路ハ如何ニモ私專門家ガ見マスレバ、直了了解ガ出來マスノデスガ、專門家外ノ御方ガ御覽ニナリマス、一寸山モナイ、川モナイ、沼モナイ

貴族院鐵道敷設法案特別委員會議事速記錄第一號  
大正十一年二月十八日

道モナイト云フヤウナ線デアリマスカラ、頗ル御了解シ難イ  
 點ノアルコトヲ始終氣遣テ居ルデアリマス、ソレデ一通リ  
 網ノ杜撰デナイ、斯ウ云フ手續ヲ經テ作リマシタト云フコト  
 タケテ申上ゲテ置キマス、ドウシテ御清聴ヲ煩ハシタイト  
 思ヒマス、隨時隨所ニ於キマシテ是マデ御耳ニ達シタコトモ  
 アルノデゴザイマスガ、此網ニ出テ居リマス、線路ハ數ニ致  
 シマシテ、百四十九本アルノデゴザイマス、長サニ致シマシテ、  
 約六千三百哩、是ハ一線路毎ニ地形經濟及ビ此線路ノ  
 説明ガ出來テ居ルデアリマス、而シテ之ヲ調ベマスノニ付マ  
 シテハ明治二十五年ノ敷設法制定當時ニ於キマシテ、全國  
 鐵道線路調査會ト云フモノガ官制ヲ置カレマシテソレガ本  
 ナリマシテ歳々年々一年モ缺カセズシテ今日ノ鐵道省ニ  
 ナリマシテ出來上リマシタモノノ中カラ撰リマシテ、二界デテ  
 サウシテ出來上リマシタモノノ中カラ撰リマシテ、二界デテ  
 アル次第ナリデアリマス、此網ガ杜撰デアリタト云フコトガ、非  
 常ニ此網ノ私受ヲ惡ク致シタ次第デアリマス、ドウデ完全ナ  
 ト云フコトハ望マレマセヌガ、今日ノ當局ノ頭ヲ以テマシテ  
 ハ調査ニ付テハ先ヅ是以上ノコトヲアルト云フコトハ中々  
 面倒デアル、盡セルダケノ調査ハ盡シタルト云フコトヲ申  
 上ゲタノデゴザイマス、線路ニ依リマス、二十五年ノ測量イタ  
 シマシテ、又其測量ノ結果、其書類ガ燒ケタリ致シマシテ、  
 又人ヲ出シテ調査ベタリ、或ハ比較線ガ出來マシテ、其爲ニ  
 線路ヲ再ビ調査スルト云フ具合デ、線路ニ依リマシテ隨分  
 再三機械ヲ入レテ調ベタリシタモノモアルノデ、ソシテ大  
 體線路ノ調査ハドウシタカト云フ問題ヲ、是ハ餘リ細カク  
 這入リマスガ、一通リ申上ゲテ置キマセヌト、此網ト云フモ  
 ノガ能ク御了解ニナリマス、一線路ヲ踏査イタシマシテ、ソレ  
 ニ對シテ一ツノ線路トシテ調ベルノデアリマス、一ツノ面  
 積ト致シマシテ調ベルノデアリマス、是ハ鐵道ノ測量ノ原則  
 ナシデアリマス、其面積トシテ調ベマシテ、其中ノ一番宜ササ  
 ウナノヲ主任技師ガ撰ビマシテ、サウシテソレニ機械ヲ入レマ  
 ス、機械ヲ入レマシテ、其線路ノ測量圖ヲ作り出シ、ソレガ茲  
 ニ御目ニ掛ケテゴザイマス、此大キイ紙ニゴザイマス、是ガ一  
 吋三鎖若クハ六鎖ニナッテ居リマス、サウシテ一通リ圖ヲ作  
 リマシテ、ソレカラ又高低モ矢張之ニ同ジク順應イタシマス  
 ル圖ヲ作りマシテ、サウシテ勾配ヲ引イテサウシテ一ツノ縱  
 斷圖ヲ作りマシテ、ソレカラ更ニ又一吋三十鎖ノ尺員ニ直  
 シマシテ、サウシテ見ルニ容易イヤウニ、尙モ保存イタシマス  
 ニ都合ノ好イヤウニ、之ヲ作りマシテ、サウシテ此地形ガ出  
 來ルノデアリマス、ソレカラ此經濟表ノ方ニナリマス、其線  
 路ノ關係イタシマス、詰リ人ノ乘リマスル區域、貨物ノ集散  
 ノ區域、ソレヲ矢張一ツノ面積トシテ勘定イタシマシテ、最

初ハ皆各郡、各町村、各市等ニ付マシテ、宿屋ニモ付マシシ  
 或ハ商業會議所見タヤウナ所ニモ付マシテ、サウシテ其人ノ  
 往來ヲ調ベ、各貨物ノ集散、移出、移入ト云フモノヲスカリ  
 假定ノ「ステーション」ヲ造リマシテ、ソレニ集メルヤウニ材料  
 ヲ取りマシテ、其材料ニ依ッテ此線ヲ敷ケバ、斯ウナルト云フ  
 コトヲ見マシテ、ソコデ一ツノ人哩、噸哩數ヲ出シテ、サウシ  
 テ現今其當時ノ國有鐵道ガ工計ニ依ッテ成立テ居リマシ  
 ル所ノ一人哩一噸哩ノ（聽取シ難シ）ヲ立テマシテ、サウシテ  
 一ツノ人哩噸哩ニ依ッテ生ズル所ノ收益ヲ出スデアリマス、  
 ソレカラ又營業費ノ算出ハ色々、デゴザイマスガ、最初二十  
 五年當時ニ依リマシタ標準ト今日ノ標準トハ少シ違フテ居  
 リマス、是ハ、技師モ段々研究ヲ致シタ結果、又諸外國ニ於  
 テ取ラレタ所ノ統計、其他ノ研究ニ依ッテ學理及ビ實際ノ  
 工計カラ出シマシテ、サウシテ凡ソ今ノ國有鐵道ノ營業費  
 ハ一哩幾ラニナルト云フヤウナコトヲ今ノ國有鐵道ノ營業費  
 ノ工計カラ出シマシタ所ノ一ツノ公式ヲ以テ、營業費ヲ勘定  
 イタシマス、公式ヲ以テソレヲ出シマシテ、サウシテソレニ似  
 寄ッタモノニ參リマシタ時ニソレヲ（聽取シ難シ）デ營業費ヲ  
 算出スルノデアリマス、サウシテソレヲ算出シテ出シマシタ  
 モノニ依ッテ、此線路ノ其當時ノ利益ヲ見テ、之ヲ建設費ニ  
 對スル純益トシテ、經濟表ニ掲ゲマシタ、ソレカラ 其外ニ從  
 來ノ運搬貨物鐵道ノ出來タ後ノ運搬貨物ヲ調ベマシテ、鐵  
 道ガ出來ルトドウナル、鐵道ノ出來ナイ先ハ斯ウデアッタ  
 ト云フコトヲ勘定イタシマシテ、サウシテ鐵道ノ利用者ト云フ  
 モノノ又一ツノ收益ヲ出シマシテ、サウシテソレヲ合シマシテ  
 鐵道ノ總益ト云フモノヲ作り、サウシテ之ヲ最初ノ建設費  
 ニ對スル總益ノ歩合ヲ出シテ、之ヲ線路調ノ經濟表ト致シ  
 テ居ルノデアリマス、サウシテ此人噸哩ニ致シマシテモ、其時  
 々ニ調ベ、其時ノ經濟ニ於テ調ベルノデゴザイマス、其時  
 々又大勢ノ團體ヲ造ッテ所々ニ極マッタ所ノモノガ行ッテ調ベ  
 ルノデアリマス、何カ矢張一ツノ制裁ヲ付ケテ置キマセ  
 スト、其團體團體ノ指導技師ノ勝手ナラ豫定ヲ入レテハイケ  
 マセスカラ、此連絡ヲ取ッテソレヲ算出イタシマス、標準  
 ト云フモノノ一ツヲ作ッテ見マシテ、其標準ノ範圍ニ於テサウ  
 シテ仕事ヲ致シマシヤウニ致シマス、例ハ橋梁ノ架設ノ如  
 キモ皆サウデアリマス、ソレカラ人、貨物等ノ調ベニ於キマシ  
 テモ、決シテ將來ノ見込ヲ知ルコトハ、是ハ其線路其モノニ  
 依ッテ更ニ見込マナケレバナラス、明カナモノハ後デ見込  
 ミマスガ、左モナイモノハ、茲ニハ將來石炭ガ出ルノデアル、  
 此處ニハ水力や電氣ガ出來レバドウナルノデアラウ、此山  
 ヲ切ッたらバ木ガドノ位計出ルデアラウ、ト云フ見込  
 ミノ數量ハ一切入レナイコトニシマシテ、現在ノ物資ニ  
 依ッテ總テ勘定ヲ致シテ行クノデアリマス、又旅客ニ致

シマシテモ、將來ノコトヲ見込ミマスレバ、他日二三年經  
 タナラ此處ガ開ケテ工場ガ立ツカラ是位ノ旅客ハアルダ  
 ラウト云フ見込ヲ：：確ナ見込ハ入レルモ宜イデアリマス  
 ガ、併シソレヲ勝手ニ入レルコトヲ許シマスト、ツイ折角極メ  
 マス豫算ガ大ナル間違ヲ惹起スコトガアリマス、ソナナ  
 トハ一切許サヌコトニ致シマシテ、現在ノ有様ヲ以テ調ベ  
 ル、斯ウ云フコトニシテ地形經濟表ト云フモノヲ作り上ゲル  
 ノデアリマス、ソウシテ出來マシタノガ：：線路調査ニ作リ  
 マシタ所ノ線路其モノノ値打ニ付テノ地形經濟表ガ出來マ  
 スルノデアリマス、ソレハ後ニ御隨意ニ御覽ヲ願ヒマスレバ、  
 更ニ其調ベノ順序ガゴザイマス、サウ云フ具合ニ  
 調ベマシテ、而シテ後ニ今度參謀本部ノ圖ニ之ヲ亦一吋三  
 十鎖ノ調ベニ移シマス、ソレハ茲ニ圖面ヲ參謀本部ノ  
 持ッテ居リマスガ、ソレニ依リマシテサウシテ線路ノ系路、或ハ  
 他日之ヲ見マスレバ此線ヲ造レバコトナリヨリ良クナッテ、之ガ  
 幹線ニ變ル或ハ之ニ連絡ヲ取レバコトナリヨリ良クナッテ、之ガ  
 云フ大體ノ網ノ位置ヲ取レバコトナリヨリ良クナッテ、斯ウト  
 ノ出來ル度ニサウヤッテ入レマシテ、サウシテ之ヲズト終始  
 變ラズ載セテ參タ次第デアリマス、サウシテ尤モ其調査ノ  
 中カラ引拔キマシテ此二十五年ニ制定イタシマシタ法律、  
 即チ現行ノ法律ニ依ッテ新線ヲ出シマスル時ナドモ矢張皆  
 其調査ノ中カラ選ンデ出シタノデゴザイマス、サウ云フ具合  
 ニ致シマシテ、此線路ノ位置、方向、ソレカラ値打等ヲザッ  
 見マシテ、ソレカラ之ノ亦再ビ便宜ノ爲ニ參謀本部ノ二十萬  
 ノ一ノ圖ニ入レマシテ、サウシテマア之ヲ攜帶ノ便ニナルヤウ  
 ニ致シマシテ、之ヲ以テ時々時勢ノ變遷ニ依ッテ、十年前ニ  
 致シマシタモノハ多少ノ變化モアリマス、ソレヲ以テ照  
 ラシテ調ベマシテ、又再ビ機械ヲ入レルベキ値打ノ出來タ線  
 路ガ出來マスレバ、又入レルト云フヤウナ具合ニ致シマシテ、  
 二十五年當時ニ調ベタモノニ對シマシテモ、今日マデ敷設  
 了ラハ、テ居リマセヌモノハ、矢張り貨物ノ集散トカ云フヤウ  
 ナモノニ向ッテハ、更ニ之ヲ訂正シテ新シイモノニ近イモノニ  
 之ヲ導クト云フコトヲ致シタノデアリマス、ソレカラ此建設費  
 ノ如キモ始終世ノ進ムニ從ヒマシテ、物價ガ騰貴イタシマシ  
 テ、段々高マッテ參リマス、其標準ヲ變ヘテ、サウシテ多少ノ今  
 ニナリマスレバ五年位ニ其標準ヲ變ヘテ、サウシテ多少ノ今  
 マデ調ベタモノニ對シテ、其歩合ヲ増スト云フヤウナコトハ是  
 ハ現場デアリマセヌ、本省ニ參リマシテソレヲ終始怠ラズ  
 訂正シテ居ルデアリマス、斯ノ如ク致シマシタモノガ茲  
 ニ掲ゲテゴザイマス、線路ノ、百四十九線ヲ作りマシタコト  
 デゴザイマス、ソコデ此網其モノハ天災地變ガゴザイマセネ  
 バ、網ノ位置其モノニ付テハ變リハゴザイマセヌ、此經濟表  
 ト云フモノニ付テハ是ハ勿論變ルノデゴザイマス、ソレデ是

カラ出シマシタ所ノ一哩幾ラ、或ハ總額ヲ幾ラト云フモノハ  
 是ハ年ト共ニ變化ヲ致シテ來ルノデアリマス、併シ大體ノ見  
 當ニ付テハモウ長イ間イタシテ居ルコトデアリマスカラ、是ハ  
 イツ調ベタノデアアル、其時ニ此位ナ利益ニナラズモ、モウ  
 是ハ進シテ來テカラ、是ハ斯ウ云フ性質ノモノト云フコト  
 ハ、是ハ其道ニ依テ致シマスル者ガ大概見當付クノデア  
 リマス、其見當ニ依テ凡ソ極メマシテ、サウシテ此網ナルモノ  
 ガ凡ソノ位デアリ上ゲタモノデアアル、凡ソノ位ノ年限デ  
 出シタモノデアアルト云フヤウナ考ヲ以テ致シマシタ、先ヅ大シ  
 タ考モ之ニナイ、一ツノ案内者ト致シテ之ヲ作り上ゲタ、ザ  
 ト斯ウ言フコトデアリマス、ソレカラ此小サイ網ニ書イテア  
 リマスル、是ハ先キモ申上ゲタ通り網ノ製作ニ付テ關係イ  
 タシマセヌ御方ハ、モウ誠ニ頼リナイヤウニゴザイマスルガ、唯  
 今見タヤウナモノカラ割出シマシテ、サウシテ最後ニ參謀本  
 部ノ圖カラ又場所ヲ極メマシテ引イタ次第デアリマス、ソレ  
 故ニ此數字ナルモノハ決シテ完全ニドコヲドウ通シテドウ行  
 クト云フ具合ニ、此圖面ノ圖ノ上ニ付テハ大體ノ方向、位  
 置ヲ示シタデアアルノデアリマス、ソレカラソノ赤イ線ヲ  
 引クニ付テ又非常ノ短日月ヲ以テ致シタカト云フヤウナ御  
 疑念モ隨分世間ニ聞キマスルノデアリマスルガ、是ハ赤イ  
 線ヲ出シマスルニ付テモ隨分年月ガ經テ居ルノデアリマス、  
 是ハ御承知ノ如ク明治四十二年ニ始メテ其時ノ總裁  
 ガ線路網ト云フ名ヲ付テマシタ圖ヲ作シテ、サウシテ輕便線  
 デモ何デモ宜イカラ、日本ニ鐵道網ヲ早ク拵ヘタイト云フコ  
 トカラシテ、網ヲ作ラウト云フ御話ガアリマシタ、サウシテ此  
 鐵道網ト云フ一ツノ圖ガ出來タノデアリマス、ソレハ其當  
 時ニ於テ實際測量ヲ致シマシタ所ト云フノデアリマス、  
 圖ノ上ニ此處ヲ通シテモ出來ル所ト云フノデアリマス、  
 ソレカラ又此議會其他ニ於テ請願ノアリマシタモノトカ、マ  
 ア色ニ此處ニハ鐵道ガ敷ケ得ラル、ト云フ場所ニ一本ノ赤  
 筋ヲ引キマシテ、サウシテ年々議會ノ委員會等ニ於キマシテ  
 鐵道關係ノ委員ノ御方ノ唯御參考ニ上ゲテ居タノデアリマス、  
 マス、是ハ少シモ何モ別ニ大シタモノヲ作ッテ上ゲルトカ上ゲ  
 ナイトカ云フモノデアリナク、マア此位鐵道ガ此場所ニハ敷ケ  
 ルカラト云フヤウナ其時ノ總裁ノ思召デマシタモノナノデア  
 リマス、ソレガ年々續イテ出テ居タノデアリマス、其後、今  
 申上ゲル本統ノ網ヲ極メテ置イテ、ソレデ仕事ヲシタリマシテ、  
 フ考ハ又一方、外ノ部分ニ於テ其考ヲ起サレテ居リマシテ、  
 始終年々其今ノ御參考トシテ出シタ線路網ノ其中ニ付テ  
 是亦交ヘテ參考トシテ、調査委員ガソレヲ持ッテ出テ、今  
 年ハ此處ヲ一ツヤツテ見ヤウト云フソレガ確ニナリマス、  
 網ガ變ハテ其次ニハ參考書ニ出ルト云フヤウナ具合ニ訂  
 正シテ參ッテ居ッタノデアリマス、ソレカラ今日差上ゲテ

ザイマス、網ノ圖ハ是ハ丁度大正八年ノ十二月ニ初メテ作  
 リ上ゲタノデアリマス、サウシテシカカ四十二議ト思ヒマス  
 ガ、四十二議會ノ時ニ現行ノ鐵道敷設法ノ線路ヲ、之ヲ存  
 スルヤ否ヤ、又之ヲ存スルナラバ線路ヲ又豫定線トシテ入レ  
 ナケレバナラヌト云フ時機ニ際シマシタ時ニ、豫備行爲ト致  
 シマシテ鐵道敷設法ノ委員會ニ於テ此唯今差上ゲテゴザ  
 イマスル此圖面ヨリ少イ、其時ニ於テ此線路ヨリ少イモノヲ  
 御參考トシテ差上ゲマシタ、サウシテ其時ニ申上ゲタヤウニ  
 私ハ記憶イタシテ居ルノデアリマス、ドウモ此現行法ヲ改  
 正イタス見込ヲ持ッテ居リマシタガ故ニ、若シ此線路ニ付テ  
 増減ノ御考デアレバ御留意ナク、ドウモ此若マデニ當局ニ  
 仰セ下サレマスレバ、調ベル所ハ調ベマス、加ヘル値打ノアル  
 モノハ加ヘマスカラト云フ特ニ私ハ申上ゲタヤウニ記憶シ  
 テ居リマス、ソレガ一ツ參考トシテ今マテ差上ゲテ置キマシ  
 タ網ト變ハタタ網ノ紙ガ其時ニ準備行爲トシテ差上ゲテア  
 タノデアリマス、然ルニ愈、之ヲ提出イタシマシタノハ四十四  
 議會デアリマス、ソレマデニ當局ニ於キマシテ、準備行爲  
 トシテ作りマシタ線路ニ對シテマダ調査ガ済マズニ入レナカ  
 タノガアリマスガ、サウ云フモノハ調査ガ付キ次第ニ入レマシ  
 テ、サウシテ之ヲ今日ノ圖ニ致シマシテ差出シタノガ今ノ網  
 ニナッテ居ルノデアリマス、ソレレ其當時準備行爲トシテ上ゲ  
 マシタ網ハ、數ハ殖エテ居リマス、減ッテハ居リマセヌ、少シ殖  
 エテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、此網  
 ノ紙ソレ自身ノ調ベニ付テモ丁度一年半バカリ當局ニ於テ  
 間違ハナイカト云フコトデアリマス、ソレレ此中デア御覽ナリ  
 マス、先ヅ是ガザト唯今申上ゲマシタ網ニ付テノ順序ニ付マ  
 シテ申上ゲマシタ次第デアリマス、ソレレ此中デア御覽ナリ  
 マスト切レテ居ル所モゴザイマス、サウシテ私設鐵道ノ先  
 キカラ出來テ居ル所モゴザイマス、又圓クナッテ居ル所モ平  
 行シテ居ル所モゴザイマス、是ハ實際圖ノ上カラスウナッテ  
 居ルノデアリマス、參謀本部ノ圖ニ入レタノヲ御覽下サ  
 イマス、初メテ此線路ノ意義ガ出テ參リマス、是ハ網ニ付テ  
 ノ考ヲザト申上ゲマシタ、ソレレ詰リ此大ニ會ニハ御目ニ掛  
 ケルコトガ出來ヤウト思ヒマス、幸ニ英吉利ノ非常ニ新シ  
 イ網ガ漸ク手ニ入りマシテ御目ニ掛ケルコトガ出來マス、英  
 吉利ノ網ト佛蘭西ノ網ト獨逸ノ網ト、獨逸ノ如キハ戰争  
 後ニ出來マシタノガ幸ニ手ニ入りマシタ、今マデ私ガ獨逸ノ  
 ヲ御目ニ掛ケタノハ戰争前ノデアリマス、是ハ千九百二十  
 年ト云フ極ク新シイノガ出來マシテ、此二三日中ニ差上ゲ  
 ルコトニ致シマス、ソレカラ佛蘭西ノト、此三ツヲ御覽下サイ  
 マスト網ト云フモノガ能ク御分リニナラウト思フノデアリ  
 マス、斯ウ云フ次第、此網ノ圖ガ出來タノデアリマス、ソレ  
 カラ敷設法ノ改正、即チ敷設法ノ現行ノヲ廢シマシテ、新タ

ニ改正案ヲ出シマシタコトハ大臣ヨリ度々申上ゲテゴザイ  
 マスガ、ドウカ先キニ野村子爵ノ御注意モアリマシタガ、私ハ  
 政府當局ト致シマシテ如何ナルコトデモ御答ヲ致シ本統ニ  
 打解ケテ御答へ申上ゲル次第デアリマス、カラドウカ御問モ  
 亦御打解ケ下サイマシテ、十分ニ御了解ヲ得マシタ上ニ速  
 ニ御可決アラムコトヲ偏ニ願フ次第デアリマス  
 ○委員長(伯爵林博太郎君) 尚ホ御質問ガアリマスコト  
 ト考ヘマスガ、本日ハ是デ散會ヲ致シマス  
 午前十時五十八分散會  
 出席者左ノ如シ  
 委員長 伯爵林 博太郎君  
 副委員長 子爵大河内 正敏君  
 委員 子爵酒井 忠亮君  
 子爵野村 益三君  
 子爵藤田 廣城君  
 男爵山根 武亮君  
 和田 彦次郎君  
 男爵古市 公威君  
 内田 嘉吉君  
 中村 是公君  
 男爵斯波 忠三郎君  
 男爵墨田 長和君  
 男爵藤堂 高成君  
 山之内 一次君  
 鐵道大臣 元田 肇君  
 鐵道次官 石丸 重美君  
 鐵道省監督局長 井出 繁三郎君  
 鐵道省運輸局長 中川 正左君  
 鐵道省建設局長 大村 錦太郎君  
 鐵道省工務局長 岡野 昇君  
 鐵道省經理局長 別府 丑太郎君  
 鐵道省參事官 木下 謙次郎君

大正十一年二月二十日印刷

大正十一年二月三十一日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局